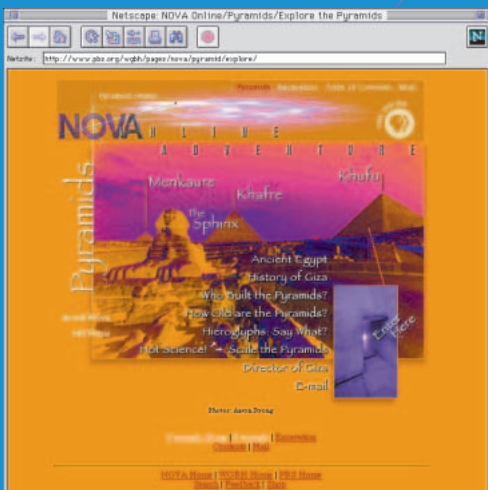


What's Cool

今泉 洋の



What's Cool



米公共放送がピラミッド特集科学番組の内容をウェブで提供

NOVA Online/Pyramids -- The Inside Story

URL <http://www.pbs.org/wgbh/pages/nova/pyramid/>

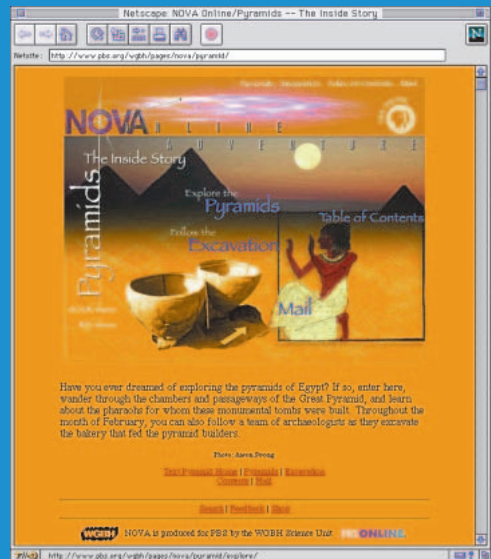
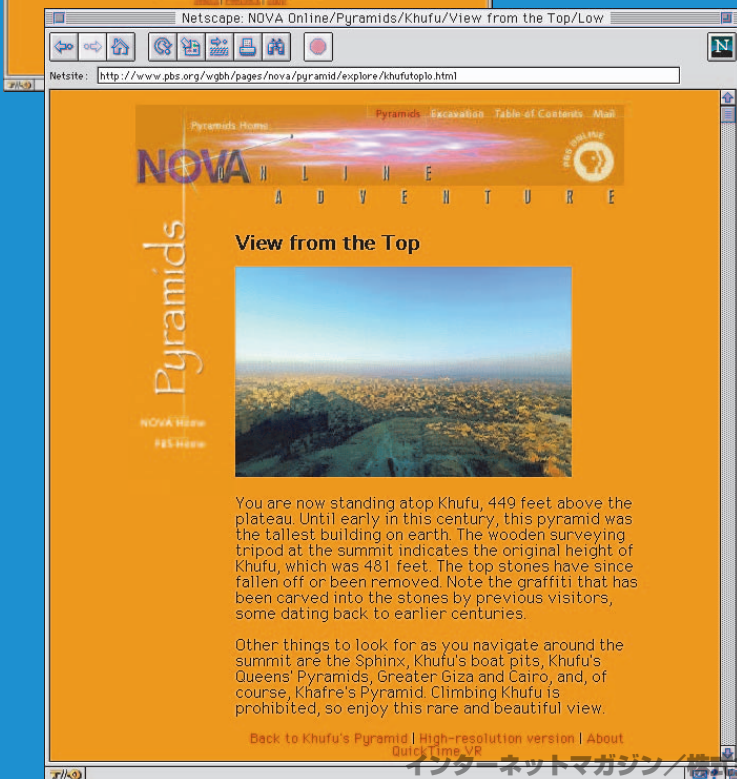
米国の公共放送PBSの気科学番組「NOVA」で放送されたピラミッドに関するエピソードを取り上げたウェブである。

テレビでは内容が分かるうと分かるまいと、とにかく時間とともに番組が進行してしまい、もう一度見たい、詳しく関係を理解したいと

思っても無理。その点、このページではウェブの構造と双方向性を生かして体系的あるいは自分の興味に合わせたコンテンツを見ていくことができる。

エジプトのピラミッド時代、ギザの歴史、発掘の様などが豊富なグラフィックで紹介されたり、ヒエログ

ラフの解説など興味深いものもあるが、特に面白いのが構造図とQTVRによる360度の周回映像を見ながらのピラミッド探検。画面は小さいながら、自分で視野をコントロールしていると、なにか不思議なリアリティーを感じてしまう。



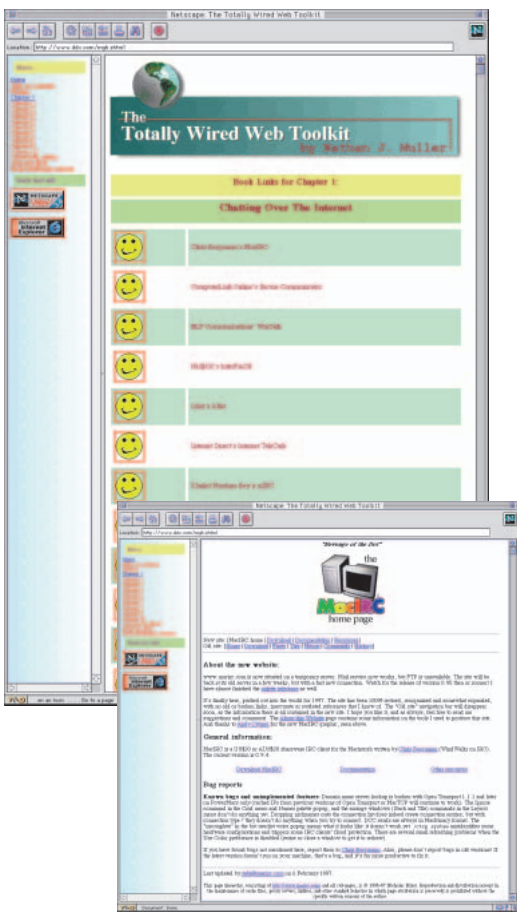
今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける！
「What's Cool Radio」

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>

「ネットをフルに楽しむ本」のエッセンスがそのままウェブに登場

The Totally Wired Web Toolkit

URL <http://www.ddx.com/mgh.shtml>

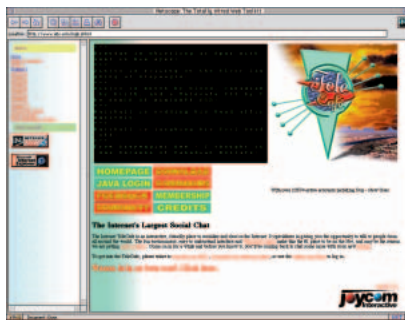


「日進月歩」という言葉が古くさく聞こえるほど、インターネットの世界は動きが速い。こんなに次から次へ新しいものが出てくると、下手なテーマで書籍を書けば出版した途端に時代遅れになってしまう。そんなことは重々分かっているはずなのに……いや、だからこそ登場したのがこのページ？

ベースになっているのは米国のマグロウヒル社から発売

されている「The Totally Wired Web Toolkit」という本。インターネット上のチャットやインターネット電話、ビデオ会議、マルチメディアメール、インターネット放送といった単なるウェブにとどまらない機能を解説したものが、なんと、この書籍の核となる部分(この場合、インターネット上のリソースのリンク)をまとめて全部ウェブに掲載してしまったのである。

無論、肝心の概要や解説などはないが、プログラムなどを実際にダウンロードできる企業ページなどをまとめてあって、習うより慣れるタイプの人には非常に便利だ。え？ やっぱりちゃんと勉強したい？ そういう人はこの本を買っていただいて……. だけどその前に英語を勉強しないともまずいか？



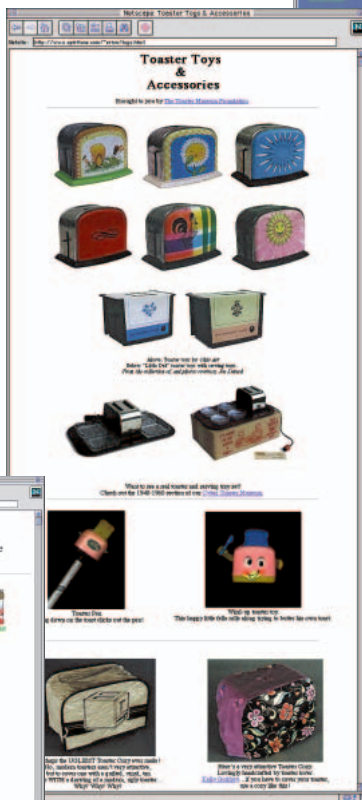
毎朝の友 トースターの博物館建設に向けてバーチャル版がウェブに登場

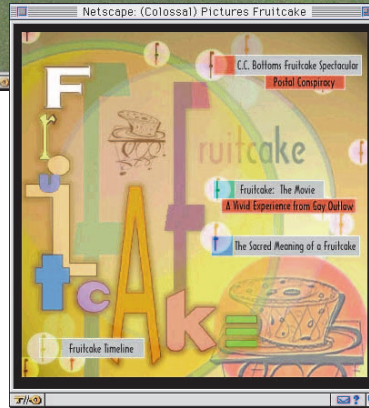
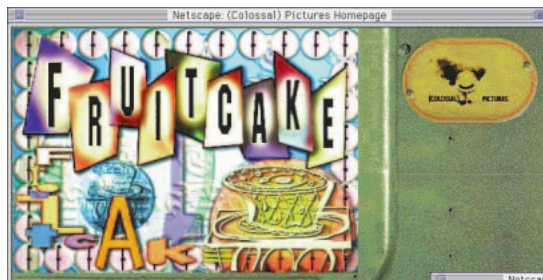
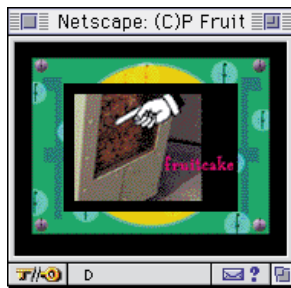
The Toaster Museum Foundation Homepage

URL <http://www.spiritone.com/~ericn/>

パソコンのモニターにトースターとくると有名なスクリーンセーバーを思い出してしまう人も多いかもしれないが、これはポートランド在住のノークロス夫妻が同地に設立計画中のトースター博物館の収蔵品の数々を収めたウェブ。1800年代のトースターの祖先(パンをはさんで暖炉にかかげるタイプ)から初期のニクロム線むきだしのもの、そして現代の最新トースターに至る歴史解説に始まって、トースターを

モチーフにしたアートやイラスト、過去の広告、ままごと用のおもちゃやトースターカバー、トースターの付いた帽子やコミックまで、とにかくありとあらゆる関係のありそうなものを集めまくっている。とんでもなくユニークな人だと思っていたら、さらに用意されたリンクからはトースターの俳句なるものを集めているページもあって、まさかトースターがこれほどまでに愛されているとは……。





コマーシャルフィルムやステーションID、番組のタイトルバックなどを手掛けるサンフランシスコの老舗特撮プロダクション、Colossalがこれまでに制作した作品を集めて公開しているウェブページ。

星座ゲーム(といっても結構笑えるいい加減な名前の星座が出てくる)やフォーチュンクッキーなど、ショックウェーブやJavaを駆使したギミックもの、さらに大量のフィルムライブラリーまでを収録。や

たらに新しいウィンドウが開くのがと面倒だが、どれもアイデアをひねった作品ばかりでテクニックに凝っても技術に流されていないところが楽しい。

日本のCFの水準は高いと言われているが、こうしたハイテクを活かしたアイデアものはちと苦手のようなので、関係者は後学のためにもぜひ一度のぞいてみるといいだろう。

技術をひねるとこんなに楽しい 米プロダクションの作品ショールーム

Loading (Colossal) Pictures Website...

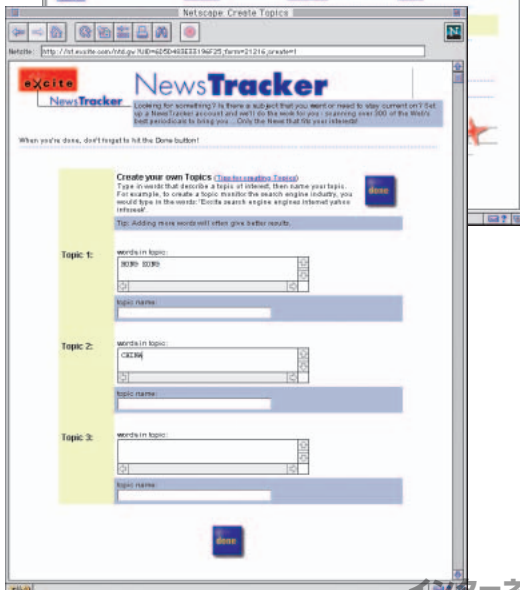
URL <http://www.colossal.com/>



パーソナルキーワードで300種類のニュースソースを自動検索

NewsTracker Home

URL <http://nt.excite.com/>



ウェブに限らず、インターネットのあらゆる場面で爆発する情報量とユーザーの多様な要求に応えるという目的(あるいはアクセス数の多さから生み出される広告収入のため)で、これまでに登場した検索サービスの数は数十を超え、競争も激しくなり、各社各様に創意工夫を重ねることになる。こうした動きの中で最もポピュラーなものが個々のユーザーの興味や関心に応じて収集してきたポインターをレイアウトしてあげるパーソナライズサービス。ユーザー個々に対応したページを作成することで安定してアクセスする人間を増やそうという目論見だ。このExciteも同様の仕組み(「ExciteLive」)を持っているが、さらにこの機能を強化したサービスが始まった。それが「NewsTracker」だ。

インターネット上に情報を提供している300以上の新聞や雑誌の情報を、ユーザーの指定したキーワード(20種類まで)別に登録可能(元元)にフィルターしてくれるというこのサービス、曖昧なものには役に立たないし、またヒットした数が多すぎるとかえってファイルチェックで忙しくなる可能性が高い。ポイントは明確なキーワードをうまく設定すること。それさえできればかなり便利なサービスになるに違いない。

専用線ユーザー注目 最新のニュース速報をウェブで提供

Nando News Watcher

URL <http://www.nando.net/nt/newswatcher/>

最近、ウェブマーケティング業界で話題になっているのが、ユーザーがブラウザをクリックして情報を取りに行くのではなく、「PointCast」のようにサーバーから勝手に情報が送られてくる「プッシュ」モデルのサービスである。しかし、コマーシャルがうるさいのは勘弁だし、専用のクライアントが必要となると、ちと面倒……と考えていたら、これに対抗しているようなサービスが登場してきた。

一つはウェブ上の老舗ニュースサイトとして知られる

「The NandoTimes」が始めた「Nando NewsWatcher」。こちらは世界のニュースからスポーツ、政治、ビジネス、技術からエンターテイメントまでをフルカバーしたものが、JavaAppletを使い、最新ニュースのヘッドラインを随時アップデートしてくれる。もちろんクリック1つで本文を読むことも可能。しかも新しいニュースが入り次第、アラートを送ってくれたり、キーワードを使って全カテゴリーの中を検索できる機能も備わっている。表示にちょっと時間がかか

たり、ウィンドウがやたら開くという欠点もくはないが、無料サービスとしてはなかなか充実した内容だ。

もう一つはウェブ上に流れている技術系のニュースサイトを15分に1回の間隔でスキャンしてくれる「NewsHub--BySite(<http://www.newshub.com/tech/>)」。到着時間順、あるいはサイト別にきちんとニュースをレイアウトしてくれるのがうれしい。もちろんリンクも張られているので見出しから本文へジャンプするのも簡単だ。



あのセリフを聞きたい リクエストに応じてくれる日替わりWAVファイルサービス

The Daily .WAV

URL <http://www.dailywav.com/>



ウィークエンドにはユーザーからのリクエストに応じて音源探し、ウィークデーに必ず1本、日替わりでWAVのファイルをアップしてくれるという、どうしてこんなことが可能なのか、ちょっと不明……でもお楽しみいっぱいウェブである。

収録されているのは「トイストーリー」や「R2D2」といった最近のものから「三馬鹿大将」「オズの魔法使い」といった古典ものまで、レコードや映画、

テレビなどから録音されたと思われる有名なセリフや効果音がいっぱい。ちょっと工夫して自分のマシンの警告音などとしてシステムに取り込んでみると面白いだろう。

メインページ以外にもアーカイブやMIDファイルのコーナーもあり、ここも恐ろしいほど充実している。こんなにすぐくていいのかな、と著作権のことがちょっと気になるところだが……。

ユーザーが自分で作ってしまった強力メタサーチエンジン

Welcome to Dogpile

URL <http://www.dogpile.com/>

検索サービスも種類が増えて、何をどう使えばいいのか迷ってしまうこともしばしば。そこで、最近増えてきたのが複数の検索サービスを同時に動かすメタサーチサービス。そのなかでもユニークなのがこのDogpileだ。

ユーザーとして検索サービスを使い込んでいるうちに、どれもレスポンスが遅く、

出力される結果にも納得できない、どうにも我慢ができない……というわけで自分で勉強し、複数の検索サービスを同時に使えるようにしてしまったというのがこのサービスの始まり。と開発者自らが語るように、主要な検索サービス13種、さらにUsenetやFTPのサーチまでをカバーし、時間制限まで付

け、さらにメイン画面の邪魔にならない小さな検索用ウィンドウも用意するという徹底ぶりだ。

ユーザー視点で作り上げただけに結果も上々だが、日々検索エンジンの仕様変更のマッチングに苦労する様子を書いたテクニカルノートも興味深い。

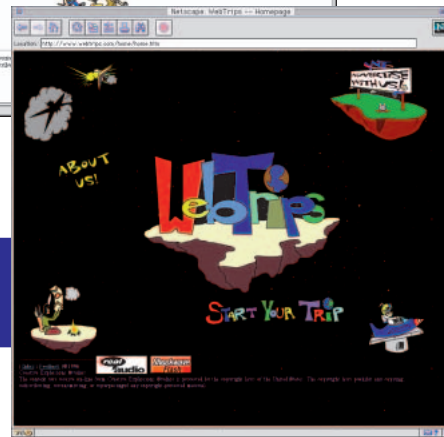
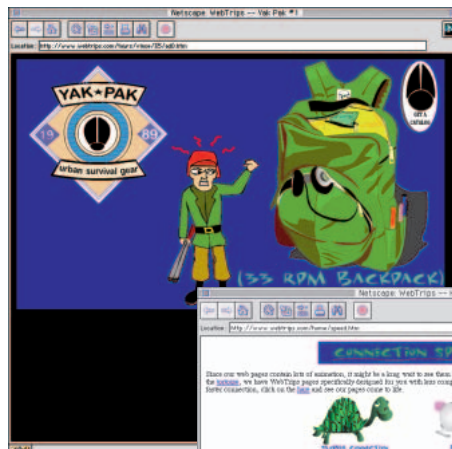


ひと言で言ってしまうとアニメーションを使ったウェブツアーだが、従来のウェブに比べるとグラフィックスのスケールが段違いにすごい。なんとウェブの画面全部がアニメーションのステージになってしまうのである。その秘密は先ごろマクロメディア社がフューチャー・スプラッシュ社を買収して発売することになった「ショックウェブ・フラッシュ」すでにご存じのことと思うが、ベクターを利用した描画方法のおかげでクリエイターは画面サイズをさほど気にすることなく（とは言っても低速モードではちと辛い）ダイナミック

なアニメーションが作れるというわけ。

中身はいかにアメリカっぽいセンスのキャラクターが登場して、お勧めのウェブを紹介するという仕組みだが、同時にリアルオーディオで聞くBGMファイルも用意されている。まさにインターネットもMTV時代を迎えたということだろうか。

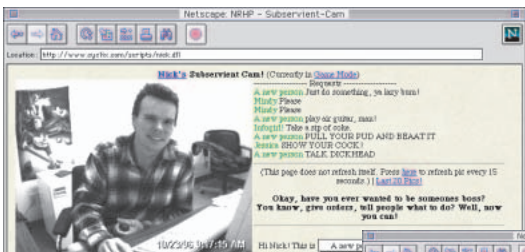
ショックウェブ・フラッシュとリアルオーディオとをうまく使うとこんなに楽しいページができるというお手本のようなウェブ。原稿執筆時点ではまだベータ版だが、本公開が楽しみだ。



ウェブデザインの新世代 フラッシュを使ったMTVセンスのウェブガイドに期待

WebTrips -- Homepage

URL <http://www.webtrips.com/home/speed.htm>



ここまでやるか？ ウェブカムで見られるアメリカ男の怪演技

NRHP - Subservient-Cam

URL <http://www.cyclix.com/scripts/nick.dll>



自分のサーバーが持てたらウェブカムでもつないで世界中に画像を発信してみたい、と考える人も多いかもしれない。しかし実際にそういう状況になってみると、意外に気が邪魔くさいというのが現実……という話を某アートディレクター（日本人）から聞いたときにびっくり。仕事の端末の脇にカメラを置き、アクセスしてくる人からリクエストやメッセージまで受け付けてポーズまでとってくれるとは、アメリカ人ってやつは……。いや、アメリカ人っ

というわけじゃなくて、この人の性格ってやつ？

と見ている間にも、世界中からメッセージが届き、その文面が表示される。一方で主人公は、と言え、いろんなポーズをとっているが……しばらく見ていると、どうもこれまでのベストショットがサーバーッシュで連続して表示されているようだ。

やっぱり、当然お休みしたい時間もあるはずだね、と納得。それはともかく、この人、ジム・キャリーに似ていなくもない。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp